

事業評価票

247 248 249	都立施設の民間移譲（練馬障害者支援ホーム、肢体不自由者自立ホーム、視覚障害者生活支援センター） (福祉保健局障害者施策推進部／一般会計)	事業開始	昭和	45	年度
		事業終期	平成	28	年度

【局評価】

1	どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか
<p><input type="radio"/> 練馬障害者支援ホーム 身体障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう必要な支援を行う施設として昭和45年度から運営</p> <p><input type="radio"/> 肢体不自由者自立ホーム 身体障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう必要な支援を行う施設として56年度から運営</p> <p><input type="radio"/> 視覚障害者生活支援センター 主として中途視覚障害者に通所により必要な知識、技能及び訓練を行う施設として58年度から運営</p>	
根拠法令等	障害者総合支援法

2	どのように取り組み、どのような成果があったか
<p><input type="radio"/> 練馬障害者支援ホーム 障害者総合支援法に基づく障害者支援施設として、施設入所支援、生活介護、自立訓練のサービスを提供してきた。 平成18年4月より指定管理者に運営を委託している。</p> <p><input type="radio"/> 肢体不自由者自立ホーム 障害者総合支援法に基づく障害者支援施設として、施設入所支援、生活介護のサービスを提供してきた。 18年4月より指定管理者に運営を委託している。</p> <p><input type="radio"/> 視覚障害者生活支援センター 障害者総合支援法に基づく自立訓練、就労移行支援のサービスを提供してきた。 18年4月より指定管理者に運営を委託している。</p>	

【財務局評価】

3	どのような課題や問題点があったか
<p><input type="radio"/> 都は、福祉改革の一環として、これまでの福祉サービスを直接提供する役割から、区市町や民間の社会福祉法人等への財政支援による地域生活基盤の整備や東京都の特性にあった福祉施策づくりなど、福祉サービス全体の向上を図ることに重点を移してきた。</p> <p><input type="radio"/> 民間移譲によって、民間社会福祉法人の自主性や創意工夫を活かした、弾力的かつ効率的な施設運営により、利用者一人ひとりのニーズに合わせた、よりきめ細かく質の高いサービスの提供が期待できる。</p>	

4	局として、事業をどうしていきたいか												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">拡大・充実</td> <td style="width: 25%;">見直し・再構築</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">移管・終了</td> <td style="width: 25%;">その他</td> </tr> </table> <p><input type="radio"/> 社会福祉法人の自主性や創意工夫を活かした、弾力的で効率的な運営により、利用者サービスの向上を図ることを目的に、施設を民間に委譲し、事業を終了する。</p>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他								
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他										
歳入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">27年度決算額</td> <td style="width: 25%;">384,080</td> <td style="width: 25%;">千円</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>28年度予算額</td> <td>478,912</td> <td>千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29年度見積額</td> <td>—</td> <td>千円</td> <td></td> </tr> </table>	27年度決算額	384,080	千円		28年度予算額	478,912	千円		29年度見積額	—	千円	
27年度決算額	384,080	千円											
28年度予算額	478,912	千円											
29年度見積額	—	千円											
歳出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">27年度決算額</td> <td style="width: 25%;">557,811</td> <td style="width: 25%;">千円</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>28年度予算額</td> <td>653,581</td> <td>千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29年度見積額</td> <td>—</td> <td>千円</td> <td></td> </tr> </table>	27年度決算額	557,811	千円		28年度予算額	653,581	千円		29年度見積額	—	千円	
27年度決算額	557,811	千円											
28年度予算額	653,581	千円											
29年度見積額	—	千円											

5	財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか
<p><input type="radio"/> 法人の自主性や創意工夫を活かし、より効率的な施設運営を行うため、着実に民間移譲を進める必要がある。</p> <p><input type="radio"/> また民間移譲に当たっては、施設の自立的運営に向けた収支改善の取組も必要である。</p>	

6	29年度予算で、どのように対応したか				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">拡大・充実</td> <td style="width: 25%;">見直し・再構築</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">移管・終了</td> <td style="width: 25%;">その他</td> </tr> </table> <p><input type="radio"/> 新規利用者の受入れなど、移譲先法人の取組により収支改善を図った上で、予定どおり平成29年度に民間移譲を実施し、事業を終了する。</p>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
歳入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">29年度予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%;">千円</td> </tr> </table>	29年度予算額	—	千円	
29年度予算額	—	千円			
歳出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">29年度予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%;">千円</td> </tr> </table>	29年度予算額	—	千円	
29年度予算額	—	千円			